

中心市街地における事業者ヒアリング

～現状の把握と課題を踏まえ、施策の方向性を検討～

要約すると

- 約2か月間かけ、中心市街地の飲食店やホテル、企業等に対してヒアリングを実施
- ヒアリング結果から得られた課題などを踏まえ、施策の方向性を検討

6月から約2か月間、中心市街地にある計40件の飲食店やホテル、小売店、企業等を当課職員が訪問し、各事業者の現状や中心市街地の魅力またはウィークポイント、コロナ禍を経た経営状況、行政に期待することなど、幅広いご意見を伺いました。

業種などにもよりますが、業況としてはコロナ禍と比較して回復傾向にある事業者が多く、空き店舗にも新たな事業者が入り、賑わいが戻りつつあるといったポジティブな意見が聞かれました。

一方、課題としては「夜は居酒屋の利用などで人が出るが、昼間は歩いている人が少ない」、「車移動がメインのため、目的地以外への回遊に繋がっていない」、「藤枝駅北口のメインストリート（県道藤枝停車場線）の治安が悪い」といった意見が聞かれました。

そのほかにも、「自身だけ成功するのではなく、地域全体で盛り上げていきたい」、「行政と協力した取組を展開していきたい」、「官民連携だけでなく、民民連携も加速させてていきたい」といった事業者の想いを聞くことができました。

ヒアリングの結果を踏まえ、今後も定期的に地域の事業者と面談し、コミュニケーションや現状把握に努めていくとともに、市街地再開発事業をはじめ、中心市街地の活性化に資する施策を推進し、また新たな事業を展開することで、中心市街地の活性化及び課題解決に取り組んでいきます。

